

生物多様性ぐんま戦略の策定に当たって



本県は、県土の約3分の2を占める森林や、流域面積日本一を誇る利根川をはじめとした豊富な水資源、海拔約13mから2,500mを超える高地までの高低差など、地域の特性に応じた自然環境のもとで多様な生態系を育み、生物多様性を形成しています。

生物多様性は、水や食料、豊かな土壌の形成、気温や湿度の調節などの恵みをもたらし、地域の文化や産業の礎となって、私たちの快適で安全な暮らしを支えてきました。

しかしながら、近年、過疎化や高齢化による里地里山などへの関わりの減少や地球温暖化の進行などの要因により、生物多様性の危機が迫っています。このため、県は、「群馬県希少野生動植物保護対策推進会議」の設置による県公共工事における希少種の保護対策や、「群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例」の制定など、県内の生物多様性を保全するための取組を推進してまいりました。

これから本格的な人口減少社会を迎える中において、今後も私たちが豊かな生活を享受するためには、地域の新たな魅力を活かす取組が求められます。

そのため、県では、生物多様性の保全と持続可能な利用を一層進めることにより、保全と利用の好循環を促し、地域の活力の増進につなげることを目的とした「生物多様性ぐんま戦略」を策定いたしました。

本戦略の基本理念である「恵み豊かな自然を未来へつなぐ群馬県」を実現し、県民の皆様とともに豊かな自然を未来に継承していきたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

群馬県知事 **大澤正明**